

台風15号により被災された皆様にお見舞い申し上げます。

令和元年9月8日夜から9日早朝に関東一円を襲った台風15号は、千葉県を中心に大規模停電をはじめとする大きな被害をもたらし、神奈川県内でも、負傷者、建物損壊、停電の被害がありました。特に、東京湾に面した横浜市金沢区福浦地区では、高波の影響で護岸が崩壊し、隣接する産業団地に海水が流入し、多くの工場や事務所で機械が損壊するなどの被害が出ました。

当組合員では、上記福浦地区にある1社が工場内浸水・機械冠水などの大きな被害を受けました。また、千葉県木更津市に工場がある1社が、停電被害は免れましたが、屋根外壁の損壊・機械への雨漏りなどの被害がありました。他にも多くの工場で大なり小なりの被害がありましたが、幸運にも人的被害はありませんでした。賛助会員の皆様、関係会社の皆様は、ご無事だったでしょうか。

初めての大きな被災でしたが、この試練を教訓にして、防災にも取り組んでいきましょう。

役員会だより

9月25日(水)15時30分から役員会を組合事務所で開催した。

- ・台風15号の被害状況について情報交換し、対応策について意見交換をした。被害が格段に大きく、1週間以上操業ができなかった1社に対し、慶弔見舞規程に基づき、災害見舞金を支給することが決まった。
- ・新年会の新春講演会は、例年続けている経済見通しを聞きたいとの声があり、今回もこれまで願っていた有識者に打診することになった。



Mグレード部会の開催

9月18日(水)15時から組合事務所で開催した。

- ・9月27日(金)～28日(土)に実施予定の群馬県の(株)鐵建の工場見学の応募状況報告と段取りの打合せを行った。当組合からの工場見学は7社、群馬県Mグレード部会との交流会、懇親会までの出席者は4社であった。
- ・11月2日(土)に神奈川県立西部総合職業技術校で実施する固形エンドタブ技能検定について、当日の段取りの打合せを行った。
- ・現在受注量や市場単価等について情報・意見交換を行ったところ、高圧ボルトの供給状況は落ち着いてきたとの意見が大半を占めた。



青年部の横顔		No. 21
	(有)小川工業所 製作部長 小川貴嗣 相模原市中央区田名10118-1 TEL 042-760-2585 FAX 042-760-0044 E-mail ogawa@ogawakogyosho.co.jp	
<p>弊社は創業者の祖父が現場鍛冶工事を専門に行っており、昭和53年に工場を借りて製作を始めて平成5年に現在の相模原市田名にて工場製作から現場取付けまで一貫で行っております。</p> <p>自分の仕事として主に工作図の製図、原寸及び部材の発注そして現場へ向かいますが、改修工事は思惑通りにいかない事が多く、くじけそうになる事ばかりです。それでも最近になってやっと自分でも微力ながら問題を解決して工事を終わらせる事にやりがいや達成感を感じるようになってきました。まだまだ分からない事ばかりですが、青年部の皆様のお力を借りながら仕事をこなしていきたいと思っております。</p> <p>趣味は中学から今までずっと続けている吹奏楽で、ユーフォニアム一筋で20年ほど吹いています。自分を表現する事が出来る楽しさ、仲間と文字通り息を合わせる事の難しさと喜びが醍醐味でシカゴに演奏旅行へいったことも良い思い出です。スポーツ観戦も好きで野球、サッカー、モータースポーツと色々観戦しています。車仲間と夜な夜な箱根方面へドライブしに行くことも楽しみのひとつになっています。</p>		

R J Nグレード部会・研修会 報告 柳川

9月28日(土)16時から17時30分まで組合事務所で、令和最初のR J Nグレード部会・研修会を開催した。

今回は私が湘南日台未来交流協会で日頃からお世話になっている作業療法士の菊地信貴氏に講師をお願いし、「悲惨なミスがなくす話し方」というタイトルで講演していただいた。受講者は部会員9人に加え、石井副理事長と事務局長の11人だった。

ミスが起きてしまう原因に対して、どうして起きてしまったのか？また、どうすればそのミスを無くすことができるのか？それではこうしてみよう！といった視点に立ち、トラブルが起きてしまっても、まずは立ち止まって、考えて、それから行動すること。また、要点は斜め上に書くことや、翌日ストレス無くすっきり目覚める裏技等、今までの研修会とはまた一味違った内容となり、皆さんで自分を見つめ直す良いきっかけになったと思う。

懇親会では、次回の研修会をリクエストされる部会員もあり、限られた短時間での研修会だったが、先ずは良かったな(笑)と思った。

**Mグレード部会・工場見学** 報告 小原

9月27日(金)、群馬県の榊鐵建の工場を見学させていただいた。

工場を見て感じたのは、ここが同業者の工場なのか？ということ。自工場を見ると、鉄骨屋なのだから汚い、汚れるということが当たり前だと思っていた。しかし、一人ひとりの意識で、まるで違う環境になるのだと思った。

また、治具も自社製作のものが多く、社員の改善書によって、より使いやすいものになっている。外を見ると、門形クレーンがいくつもあり、すべて大きな屋根がある。それが日除けにも雨除けにもなり、その下で快適に作業をしていた。

工場見学を通じて、社員の皆さんの会社愛がとても伝わってきた。榊鐵建の皆様、ありがとうございました。

全構協と各都道府県青年部との意見交換会報告 田中

9月20日(金)、鉄鋼会館で開催された。当組合からは、青年部長の田中が出席し、各県・各ブロック単位の青年部としての取り組み方針、連携の在り方等について、意見交換をした。

その後、懇親会が催され交流を深めた。

**Mグレード部会からのお知らせ**

固形エンドタブ技能検定の申込締切は、10月10日(木)です。まだ間に合いますので、これからでも申請してください。

受験申請書兼受験票(写真付き)を神奈川県鉄構業協同組合へ10月10日(木)までに必着。

青年部・バーベキュー大会は中止

9月22日(日)に、真鶴半島「琴ヶ浜研修センター」で実施予定だったバーベキュー大会は、台風17号による荒天が見込まれたため、20日(金)に、残念ながら中止を決定しました。

青年部の役員の方、準備にご尽力いただき、ありがとうございました。参加予定者も楽しみにしていたことと思いますが、自然が相手ですので、少しでも事故やトラブルが想定されれば、仕方ありません。

来年も企画していただけるそうなので、楽しみにしています。